令和５年４月２８日

たかがみねこども園

爽やかな風が吹き、新緑の若葉が眩しい季節になりました。進級・入園して１か月、新しい環境の中で先生やお友だちと楽しそうに過ごしています。今月は戸外で、花や虫などの身近な自然に触れ、体をいっぱい動かして遊びたいと思います。

今月は比叡山ガーデンミュージアム、明治工場・協和水耕トマト農場、植物園、宝ヶ池公園北園など、様々な場所に出かけます。また、うめ組のお友だちが心待ちにしている『ゆうゆう☆サタデー』を２０日に実施します。

☆楽しいゴールデンウィーク☆

お出かけの機会が多くなるこの時期。親子でふれあったり、おじいちゃん、おばあちゃんに会ったりと､楽しい経験ができるといいですね。ケガや病気をせず元気に過ごせるよう、無理のない計画、規則正しい生活を心がけましょう。休み明けには元気な笑顔で会えるよう、健康管理をお願いします。

～　５月の目標　～

・健康な身体を作ろう

気候の良いこの時期に戸外にたくさん出て体を動かし、体力の向上をはかる。

・素直で優しい子に育つ

「ありがとう」「ごめんなさい」が自ら言え、困っているお友だちには声をかけることができるようになる。

子どもは、実際に体験したことから様々なことを感じ取ったり、体験の積み重ねからたくさんのことに気づいたりします。

しかし、保護者の方は「何か体験させないと！」と考えるあまり、お休みのたびにお出かけをしたり…。

近隣の公園で遊びながら四季の変化に気づいたり、お家の中でのいろんな生活場面（お洗濯やお掃除、食事作りなど）を見ることやお手伝いをしたりすることも、子どもたちにとっては貴重な体験です。

例えば、「お手伝い」の体験から、「家族の一員としての自覚」「お願いね、と頼りにされる喜び」「役に立ち感謝されるうれしさ」「自分はいろんなことができるという自信」など、子どもはいろんなことに気づきます。日々の忙しい生活を送る中で、子どものペースにいつも寄り添うことは大変ですが、子どもが体験しているときは、保護者の方はそばで「待つ」「見守る」ことが大切です。

子どもにとっては、日常生活そのものが日々体験であり、その中で、自分でできることを少しずつ自分でするようになるという経験が、心や体の育ちになります。乳幼児期にできる貴重な体験を保護者の方と共に楽しんでください。

園でも、近くの吟松寺や讃州寺、妙見宮へお散歩に行き、紅葉とは違った新緑の色鮮やかさを感じたり、アリやてんとう虫、ちょうちょを探したり、お花を観察したりして季節を感じたいと思います。また、夏野菜（なす・きゅうり・トマト・ズッキーニ・かぼちゃ）を各クラスで育てます。ゆり・うめ組は、野菜の成長する様子を観察したり、お当番のお友だちが水やりをしてお世話をしていきます。その中で、子どもたちが発した言葉、感じたり、考えたりしたことに、職員は耳を傾けていきたいと思います。